長野県出資等外郭団体改革状況検証シート

【公益•特別法人用)

【対象決算年度:平成30年度】

1 団体の概要

団 体 名 (所在地) 長野県信用保証協会 (長野市大字南長野県町			⊞ ⊺597−5)	597–5)			代表者	会長 石原	秀樹	
設立根拠 信用保証協会法				設立年	昭和29年		県所管部局 (課)	産業労働部(産業立地・経営支援課)	
設立の沿革	設立目的(寄付行為·定款上)									
昭和24年 社団法人として設立 昭和25年 財団法人として設立			中小企業者のために信用保証の業務を行ない、もってこれらの者に対する金融の円滑化を図ること。							
		証協会法に		具体的な事業内容						
法人に組織変更			・中小企業者等が銀行その他金融機関から事業資金の貸付等を受ける際、その貸付金等の債務を保証すること。 ・上記債務に係る代位弁済。							
				事業執行	状況を示す	主な指標				
				H26 H27 H28 H29	保証承諾 232,881 240,620 212,504 181,284 165,552	保証債 562,7 547,0 519,9 482,4 442,9	53 102 186 158	(単位:语 代位弁済 4,608 4,570 4,579 4,799 4,859	5万円)	
基本財産(円)	44,434	1,459,628	うち県の出 捐額(円)		64,000	県出捐率 (%)	10.1%	主な出捐者・	,803,996円 1. ,920,100円 2.	.0%

*役職員数は各年度当初現在、平均年齢及び平均年収は平成30年度当初現在

	年 度				H	27	H	28	H29		H30
			常	勤		5		5		5	5
	役 員			うち県職員		0		0		0	0
役	汉 兵	双	非	常勤		12		13		13	13
職				うち県職員		1		1		1	1
			常	勤		128		128	1	30	131
員	職員	数		うち県職員		0		0		0	0
数			非	常勤		0		0		0	0
		常勤	勆職員計			133		133	1	35	136
	非常勤職員計			12		13		13	13		
	県職員計(非常勤役員除く)			0		0		0	0		
役員	平均年齢	61.8	役員平均年	∓収(千円)	8,304	職員平均:	年齢	39.7	職員の平均年収	(千円)	6,636

*次表は平成30年度の状況で、()内は29年度

(単位:千円、%)

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	V ()	1.54						\ — I=	2. 1111/0
収	経常収益(A)			5,288,880	(5	,509,256)		補助金	0	(0
益等	経常費用(B)			4,426,073	(4	,540,663)	l	事業費	0	(0
ザ	経常損益(A)-(B)			862,807		(968,593)	県	運営費	0	(0
況	当期損益			684,986		(727,909)	費	交付金	0	(0
財	公益事業比率	0.0	(0.0)	正味財産比率	12.8	(11.7)	受	負担金	0	(0
務	経常比率	105.9	(105.8)	流動比率	117.2	(115.8)	文	委託料	0	(0
- 次	人件費比率	20.9	(19.8)	固定比率	5.5	(5.5)	入	貸付金	0	(0
資産	管理費比率	44.8	(43.9)	固定長期適合率	4.6	(4.5)	状	出捐金	0	(0
関	事業支出伸び率	△ 2.5	(△2.1)	借入金依存率	0.0	(0.0)		損失補償年度	0	(0
係 指	補助金等比率	0.0	(0.0)				況	末残高	U	(0
標								人件費関係費 用(再掲)	0	(0

民間(NPO含む)との競合状況

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針事業の効率化

	改革基本方針		実 施 状 況
実施年月		実施年月	
H16.6.10	改革基本方針策定 「制度的な制約を解消した段階で長野県農業信用	H16.6.17	長野県が経済産業省(中小企業庁)に制度改正を 提案 →中小企業庁:改正予定なし
	基金協会と統合」	H20.1.4	業務効率化のため、全国の21協会と電算システム の共同化を開始
H20.1.18	改革基本方針改訂 →「現在の体制で事業の効率化を図る」	H22.4.1	「経営支援室」設置、管理部門を県下2か所(長野、 松本)から4か所(長野、松本、上田、飯田)に拡充。
H25.2.8	改革基本方針改訂 →「事業の効率化」	H25.4.1	「総務部」を「総務課」及び「企画情報課」の2課に、保証統括部を「保証統括課」、「保証事務課」及び「経営支援課」の3課に(従前3課1室)、機構改革を実施。
		H30.4.1	「経営支援課」を「経営支援統括室」に、「監査室」を「コンプライアンス統括室」とし、県下4か所の管理部門を県下8か所とし、関連会社保証協会サービサー上田出張所を廃止する機構改革を実施した。また、「松本支店」を「松本営業部」へと呼称の変更を実施した。

経営計画等の策定状況

・年度経営計画並びに3年に一度は中期事業計画を策定。

情報公開の取組状況

・情報公開実施要領に基づき、事業報告書及び年度経営計画等を公開している(ホームページ、広報誌等)。

監査等結果

・内部定期監査を実施した結果、正確かつ適正であることが確認されている。

団体の課題等

〔団体記載欄〕

・人手不足や事業承継といった中小企業者が抱える諸課題につい て、県・市町村等の関係機関と連携し、経営支援を進めるとともに、 |県内の事業者数減少も踏まえ、創業者等に対し、創業支援の取り 組みなどをおこない、中小企業者の事業の成長・発展を支援し、地・信用保証協会の役割 域経済の活性化に貢献していく。

るための中小企業信用保険法等の一部を改正する法律」を踏ま こなうべく、組織の機構改革を実施し、営業店において創業支援か ら代位弁済後の管理回収まで総合的なサービスの提供が可能な 体制を構築した。また、平成31年4月からは、新たに創業支援グ ループも設置し、一層のサービス向上に努めている。

・今後も中小企業者のパートナーとして、ご利用いただくお客様の 視点にたった質の高いサービスを提供することで、県内経済の振 興と発展に寄与していきたい。

[県記載欄]

信用保証協会は、信用保証協会法に基づき設立された認可法人 ・平成30年4月に施行された「中小企業の経営の改善発達を促進す」であり、中小企業者等に対する金融の円滑化を図ることを目的とし ている。

え、中小企業者等のライフステージに応じたきめ細やかな対応をお トまた、中小企業に対する円滑な資金供給に加え、平成30年4月か ら中小企業に対する経営支援が信用保証協会の業務とされたこと から、これまで以上に金融機関との連携を強化し、中小企業のライ フステージに応じた多様な資金ニーズに対応していくことが求めら れている。

【財務の状況】(公益・特別法人用)

団体名:長野県信用保証協会

① 正味財産増減計算書

(単位:千円)

О п	> < >,	₹1 <i>1</i> ±20 <i>11</i>	咷副 昇音	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	経常	常増減0	の部			
			ス益 (A)	5,787,620	5,509,256	5,288,880
			5基本財産運用益	, ,	, ,	· · ·
		うち	5受取会費			
		うち	5事業収益	5,787,620	5,509,256	5,288,880
		うち	5受取補助金等			
			うち受取国庫補助金			
_			うち受取県補助金			
般			うち受取市町村補助金			
正		経常費	南(B)	4,638,118	4,540,663	4,426,073
味		うち	5事業費	2,649,898	2,548,637	2,441,568
財			うち公益事業費			
産			うち給料手当			
増		うち	5管理費	1,988,220	1,992,026	1,984,505
減			うち役員報酬	57,774	58,579	58,442
部			うち給料手当	890,675	842,659	864,830
пþ		経常増	曽減(損益)額(C)=(A)-(B)	1,149,502	968,593	862,807
	経常	常外增源	載の部			
		経常外	収益 (D)	7,461,581	7,728,185	7,057,916
		経常外	費用(E)	7,710,107	7,968,869	7,235,737
		経常外	増減額(F)=(D)−(E)	△ 248,526	△ 240,684	△ 177,821
			財産増減(当期損益)額(G)=(C)+(F)	900,976	727,909	684,986
			財産期首残高 (H)	15,475,862	16,376,838	17,104,747
			財産期末残高 (I)=(G)+(H)	16,376,838	17,104,747	17,789,733
指	受耶	7補助会		0	0	0
増定			[国庫補助金	0	0	0
減正			D地方公共団体補助金	0	0	0
の味			E味財産増減額(J)	0	0	0
部 財	指定	官正味則	財産期首残高 (K)	0	0	0
	10 4		財産期末残高 (L)=(J)+(K)	0	0	0
			減額 (M)=(G)+(J)	900,976	727,909	684,986
		期首残		15,475,862	16,376,838	17,104,747
正味	す	期末残	高 (O)=(M)+(N)	16,376,838	17,104,747	17,789,733

② 貸借対照表

		77/102	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	流重	边 資產	596,307,341	558,757,953	519,114,491
		うち現金預金	21,555,599	19,934,572	19,311,128
	固定	E 資産	3,747,591	3,625,396	3,641,904
資		基本財産	1,013,011	1,105,470	1,085,891
		うち土地	433,398	433,398	433,398
		うち投資有価証券	0	0	0
		特定財産	0	0	0
産		うち退職給与引当資産	0	0	0
		うち減価償却引当資産	0	0	0
		その他の固定資産	2,734,580	2,519,926	2,556,013
	資產	全合計	600,054,932	562,383,349	522,756,396
	流動負債		519,986,410	482,458,140	442,942,259
4		うち短期借入金	0	0	0
負		うち未払金	0	0	0
	团员	E負債	14,829,729	13,958,506	13,162,448
債		うち長期借入金	0	0	0
1,70		うち退職給与引当金	1,262,211	1,302,193	1,245,183
	負債		534,816,139	496,416,646	456,104,707
	指定	ご正味財産	0	0	0
-		うち基本財産への充当額	0	0	0
正味		うち特定資産への充当額	0	0	0
味 財 産	一船	设正味財産	65,238,793	65,966,703	66,651,688
産		うち基本財産への充当額	43,492,529	43,977,801	44,434,460
<i>,</i>		うち特定資産への充当額	0	0	0
	正明	未財産合計	65,238,793	65,966,703	66,651,688
負債	及び.	正味財産合計	600,054,932	562,383,349	522,756,396